

## 四国8の字ネットワークのミッシングリンクの早期整備

政策提言先 国土交通省

### 政策提言の要旨

本県では、人口減少や高齢化等により経済が縮小する負の連鎖を克服するため、地産外商の強化や拡大再生産の好循環の創出による経済の活性化に取り組んでいます。「四国8の字ネットワーク」の整備により、大都市圏と地域、地域と地域との連携を強化し、県内各地の特性を活かした様々な取り組みを力強く後押しすることが不可欠です。また、近い将来、発生が想定される南海トラフ地震対策にも重点的に取り組んでいます。南海トラフ地震への備えとして迅速な救助活動や広域的な支援・受援体制を構築するうえで「四国8の字ネットワーク」は重要な基盤となります。

このため、地域経済の活性化の要となり災害時の生命線となる高規格道路の整備については、道路関係予算全体を拡大したうえで整備に要する予算を確保し、国において確実に進めることが必要です。

○地域の経済活動を支え、南海トラフ地震時の命の道となる四国8の字ネットワークの整備は急務

1. 計画段階評価実施中区間の早期完了！
2. 計画段階評価完了区間の早期事業化！
3. 事業中区間の早期完成！

### 【政策提言の具体的内容】

**地域の経済活動を支え、南海トラフ地震時の命の道となる四国8の字ネットワークの整備は急務**

地域経済の活性化に向けた取り組みを後押しし、南海トラフ地震時の緊急輸送道路となる高規格道路の整備は、道路関係予算全体を拡大し、国において確実に進められるべきと考えます。

#### 1. 計画段階評価実施中区間の早期完了！

最後に残る空白区間を埋めることで、整備効果を最大限発揮することが可能となります。

- 四国横断自動車道 宿毛～内海間
- 阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間、野根～安倉間（直轄代行要望区間）

#### 2. 計画段階評価完了区間の早期事業化！

地震発生時の迅速な救急活動や物資搬送を行うためには、高規格道路の早急な整備が必要です。

- 四国横断自動車道 佐賀～四万十間
- 阿南安芸自動車道 牟岐～野根間

#### 3. 事業中区間の早期完成！

事業中区間を早期に供用開始することで、高規格道路の整備による様々な効果を早期に発現することが可能となります。

- 四国横断自動車道 窪川佐賀道路、片坂バイパス、中村宿毛道路（平田IC～宿毛IC間）
- 高知東部自動車道 高知南国道路（高知JCT～高知南IC間）  
南国安芸道路（高知龍馬空港IC～香南のいちIC間、芸西西～安芸西IC間）
- 阿南安芸自動車道 安芸道路

### 【政策提言の理由】

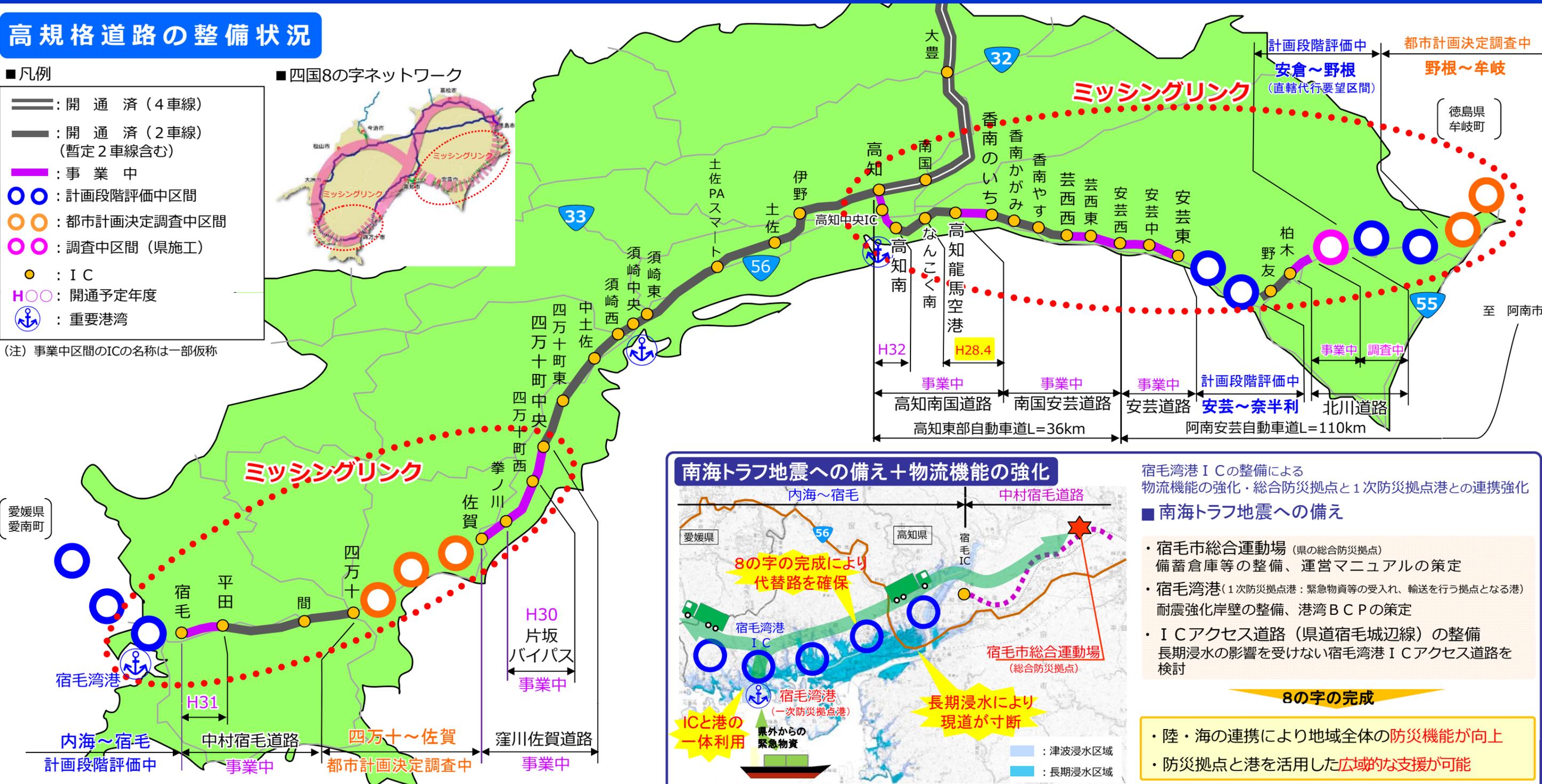
◇高規格道路の延伸を見据えた地産外商の強化と拡大再生産の好循環へつなげる産業振興の取り組みを後押し、また、南海トラフ地震発生後の迅速かつ円滑な救援活動や物資搬送を行うため、高規格道路網「四国8の字ネットワーク」の整備を加速することが必要です。

【高知県担当課】土木部 道路課

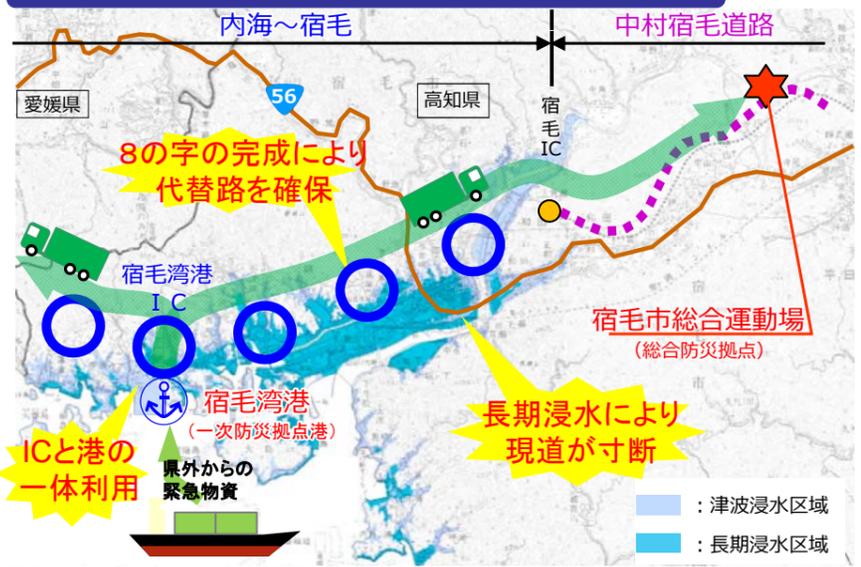
## 高規格道路の整備状況

- 凡例
- : 開通済 (4車線)
  - : 開通済 (2車線) (暫定2車線含む)
  - : 事業中
  - : 計画段階評価中区分
  - : 都市計画決定調査中区分
  - : 調査中区分 (県施工)
  - : IC
  - H○○: 開通予定年度
  - ⚓: 重要港湾
- (注) 事業中区分のICの名称は一部仮称

### ■四国8の字ネットワーク



### 南海トラフ地震への備え+物流機能の強化



宿毛湾港 ICの整備による  
物流機能の強化・総合防災拠点と1次防災拠点港との連携強化

- #### ■南海トラフ地震への備え
- 宿毛市総合運動場 (県の総合防災拠点) 備蓄倉庫等の整備、運営マニュアルの策定
  - 宿毛湾港 (1次防災拠点港: 緊急物資等の受入れ、輸送を行う拠点となる港) 耐震強化岸壁の整備、港湾BCPの策定
  - ICアクセス道路 (県道宿毛城辺線) の整備 長期浸水の影響を受けない宿毛湾港 ICアクセス道路を検討

**8の字の完成**

- 陸・海の連携により地域全体の防災機能が向上
- 防災拠点と港を活用した広域的な支援が可能

#### ■物流機能の強化

- ▲すくも84マリンターミナル ▲寄港する「飛鳥II」
- 防波堤の整備 (H30年度完成予定)
- 交流拠点施設の整備 (H21年度)

**8の字の完成**

- 防波堤の整備による港内の静穏性の確保と相まって、利便性が向上し、さらなる利用促進につながる

## 地域の経済活動を支え、南海トラフ地震時の命の道となる四国8の字ネットワークの整備は急務

- 計画段階評価実施中区分の早期完了!**
  - 四国横断自動車道 宿毛～内海間
  - 阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間 野根～安倉間
- 計画段階評価完了区分の早期事業化!**
  - 四国横断自動車道 佐賀～四万十間
  - 阿南安芸自動車道 牟岐～野根間
  - 四国横断自動車道 窪川佐賀道路 片坂バイパス 中村宿毛道路
- 事業中区分の早期完成!**
  - 高知東部自動車道 高知南国道路 南国安芸道路
  - 阿南安芸自動車道 安芸道路

# 高知県西部（四国横断自動車道）のミッシングリンクの早期整備

## 西部の整備状況

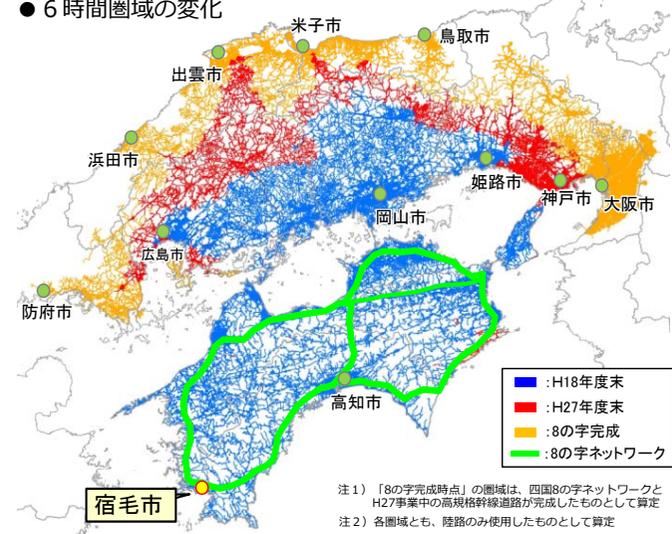


## 高規格道路の延伸を見据えた取り組み ■「高知県産業振興計画」による水産振興

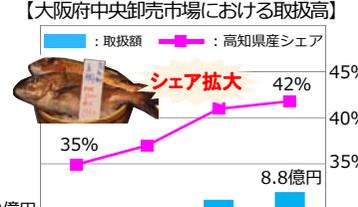
- 宿毛市における水産加工業の育成
  - ▲ 宿毛さかな工房
    - ・ H23.3 加工施設稼働
    - ・ 鯉たたき、干物等を生産
    - ・ 全国55のグループ企業レスランで使用する食材も加工
  - ▲ (株) 沖の島水産
    - ・ H26.6 加工施設稼働
    - ・ カツオやブリ等の加工品を生産
    - ・ 販路拡大に向け、近畿地方等の催事に積極的に出店
- 大月町における養殖漁業の振興
  - ▲ クロマガロの養殖生贖
    - ・ 漁協による製氷施設や養殖業者による出荷施設の整備(製氷施設：H26年度、出荷施設：H25年度)
    - ・ 漁港と四国横断自動車道とを結び国道、県道を整備中
  - ▲ 製氷・出荷施設(橋浦漁港)

## 地域産業の振興に向けて

### ■ 宿毛市を起点とした6時間圏域の拡大



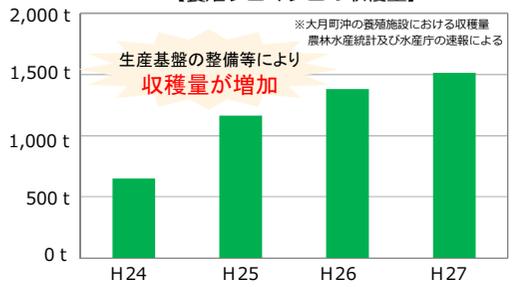
### ● 養殖真鯛取扱高の増加



● 大阪府中央卸売市場の生鮮水産物取扱高上位3品目

順位	品目	取扱金額
1	養殖真鯛	20.6億円
2	さけ	15.0億円
3	くろまぐろ	11.3億円

※市況概況 H27.7大阪府中央卸売市場



● 産業振興の取り組みを支える8の字の整備により、基幹産業の育成を後押し

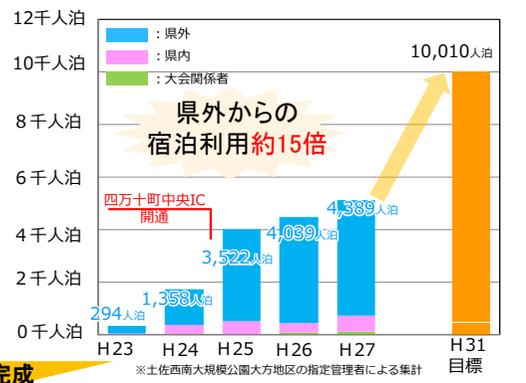
### ■ 黒潮町のスポーツ合宿・大会誘致

- 施設の利用可能人数の拡大
  - クレイ舗装から人工芝整備中
  - ・ サッカーコート2面
  - ・ H29年度完成予定

▲ 県外チームのサッカー合宿

- 宿泊可能人数等の拡大
  - ・ 宿泊受入等のワンストップ窓口の構築 (一社) 幡多広域観光協議会、H29年4月予定)
  - ・ 宿泊施設の機能強化 (黒潮町、H28～29年度予定) ※中山間地域の集落活動拠点「集落活動センター『出会いの里蜷川』」
  - ・ 誘致担当者の増員 (指定管理者、H28年4月までに2名)

### ◆ これまでの開通と取り組みによる効果



● 新たな合宿や大会誘致による利用者数の増加を後押し(約6千人泊増を見込む)

● 中山間地域の宿泊施設等の活用による、地域の活性化や生きがい感の増進に寄与

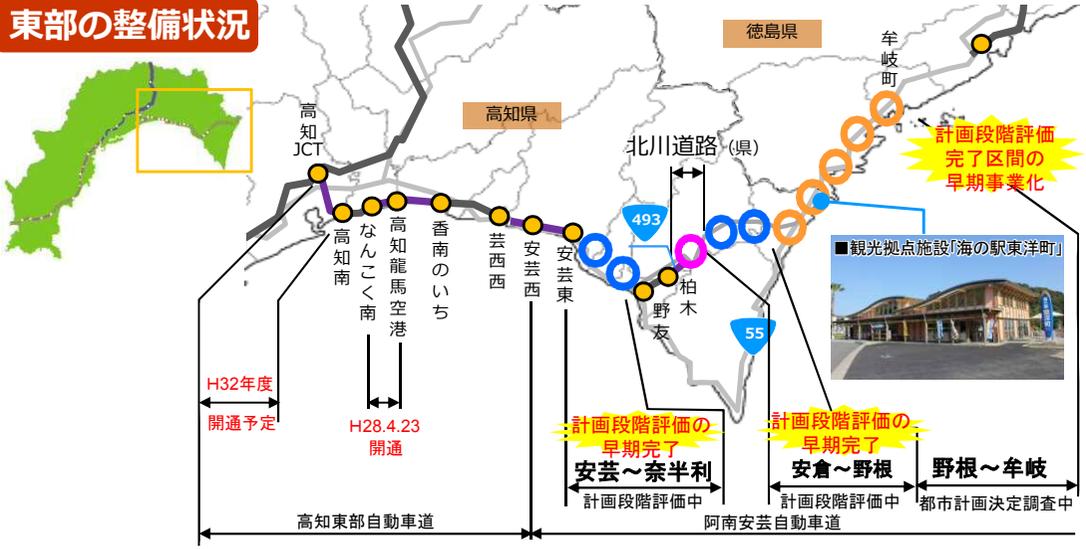
● 近畿地方の大消費地や中国地方の日本海側まで、販路・商機が拡大

● 6時間圏域人口は、約3倍の26百万人に増加

● 輸送時間の短縮により、消費期限が短い商品の取扱いが可能

# 高知県東部 (高知東部自動車道・阿南安芸自動車道) のミッシングリンクの早期整備

## 東部の整備状況



## 高規格道路の延伸を見据えた取り組み

### 東洋町の観光振興の取り組み

#### ●特産物を活かした観光客誘致

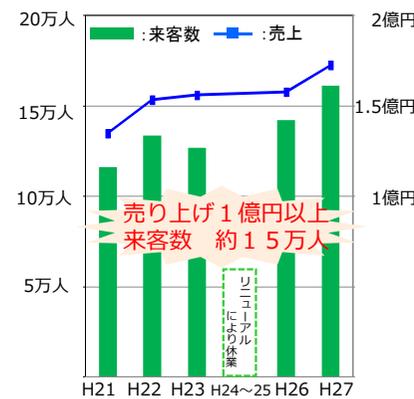


▲ご当地グルメ「ジャンジャン」 ▲新鮮な魚介を使用した海鮮丼

- 観光情報の発信や地元海産物などを販売する観光拠点施設「海の駅東洋町」をリニューアル(平成26年1月オープン)
- ご当地グルメや地元漁港直送の魚介類を使用した海鮮丼をはじめ、オリジナルメニューを提供

#### ◆産業振興の取り組みによる効果

【海の駅東洋町の売上と来客数】



#### ●魅力あふれる自然を活かした観光客誘致



▲国内屈指のサーフスポット「生見海岸」

- 観光イベント「高知家・まるごと東部博」を契機に、H27年度からマリンスポーツなどの観光体験プログラムを充実
  - 新たに3つの観光体験プログラムを追加し、7つのプログラムを展開
- ⇒新たな観光スポットが誕生

●地域の取り組みを支える8の字の整備により、産業や観光の振興を後押し

## 災害発生時の代替路の確保に向けて

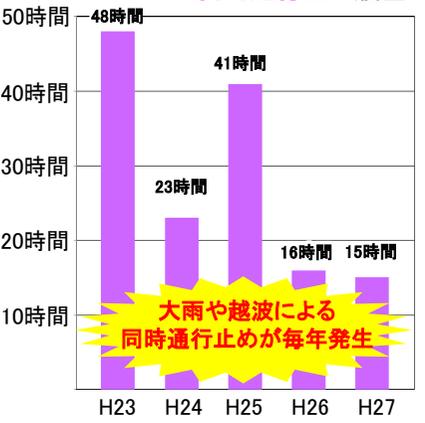
### ■南海トラフ地震時の防災拠点間の通行確保



(安芸市～東洋町)

### ■異常気象時の代替路の確保

- 国道55号・国道493号 同時通行止め履歴



●同時通行止めにより、東洋町への交通が途絶

### 8の字の完成

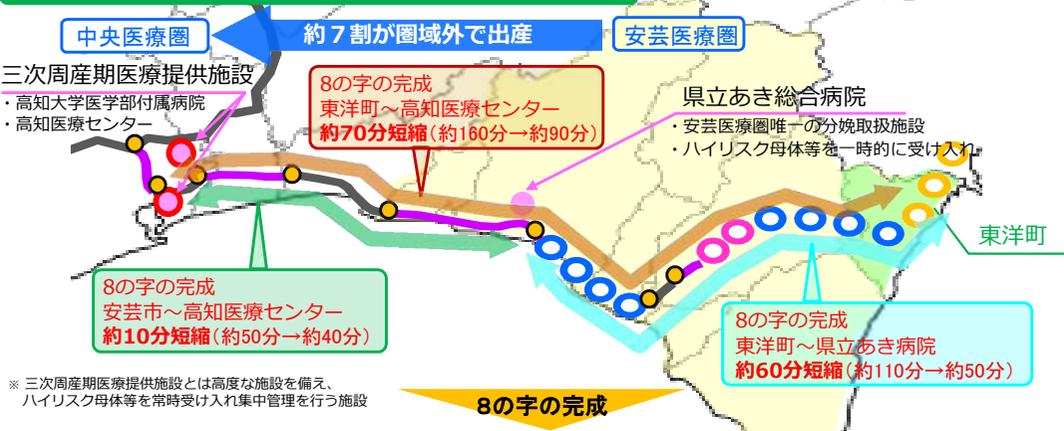
- 東洋町への災害に強く安全な物資輸送等のルートが確保
- 異常気象時等で通行止めとなる区間の回避が可能

津波浸水の影響を受けないルートを確保

東洋町と総合防災拠点(安芸市総合運動場)との間が陸路で繋がる日数は約1日に短縮

## 出産環境の向上や移住・定着促進に向けて

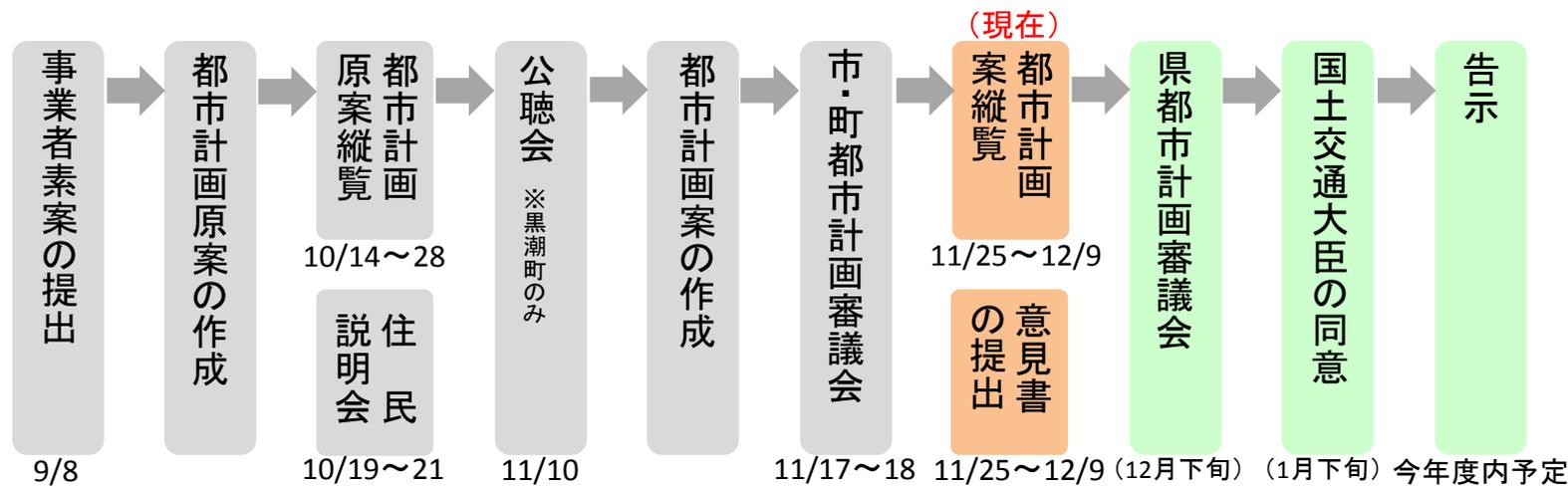
(安芸市～東洋町)



- 移動時間の減少、定時性の向上により検診や出産のための移動に伴う精神的、体力的な負担が軽減
- 受入れ体制構築にかかる医療従事者の負担軽減、限られた医療資源の連携を強化
- 安全で安心な周産期医療の環境が確保され、地方での若者の移住・定着につながることを期待

## 都市計画決定手続きの状況

●都市計画決定に向けた手続きが着実に進んでいます



## 高速道路の整備を見据えた取り組み

●黒潮町において、南海トラフ地震対策や地方創生に向けた取り組みと幹線道路の整備を進めています。

【凡例】  
 ■：高規格幹線道路（開通済） ■：国道 H○：開通予定年度  
 ■：高規格幹線道路（事業中） ■：主要地方道 ■：地域の取り組みを支える幹線道路の主な整備箇所  
 ■：都市計画決定手続き中 ○D：IC



### 例1 役場庁舎の高台移転による防災対策



**南海トラフ地震対策の取り組み** 津波浸水の影響を受けない高速道路ICに近接する高台に役場庁舎を移転、震災時の防災中枢機能の確保や受援体制の構築を図る。  
**取り組みを支える道路整備** 海岸部に立地するスポーツ施設利用者や観光客等の円滑な避難を確保するため、新庁舎とをつなぐ町道の整備について具体的な検討を進めている。

### 例2 県立公園を活用したアマチュアスポーツ合宿誘致



**地方創生の取り組み** 高速道路の延伸とともに、スポーツ合宿利用が増加。さらなる誘致拡大を図るため、人工芝サッカーコートを整備。(H29年度完成予定)  
**取り組みを支える道路整備** 県道中村下田ノ口線の整備により、土佐西南大規模公園(大方地区)と高速道路IC間のアクセスが向上

四国横断自動車道「佐賀～四万十」間の早期事業化

▶ 地方創生に向けた取り組みを支えるとともに、様々な効果を地域に波及

地方が整備する高規格幹線道路のICアクセス道路の補助制度の拡充

▶ 高規格幹線道路と地域との連携を強化するICアクセス道路の計画的な整備